

1 リットルの涙 (2004)

メディア 映画

ジャンル ドラマ

製作国 日本

色彩 Color

時間 98分

初公開日 2005/02/05

公開情報 「1 リットルの涙」上映委員会

【キャッチコピー】

耐えておくれ、私の涙腺よ――
悔しかったらやればいいじゃん。
負けとったら、いかんじゃん。

【解説】

14歳の時に脊髄小脳変性症という不治の病を発症し、以後、治療法のない難病と向き合いながらも25歳10カ月の生涯を懸命に生きたひとりの女性・木藤亜也さんの真実の物語を映画化。木藤亜也さんが発症してから21歳になるまで書き綴った日記と、母・潮香さんの手記をもとに構成。徐々に体の自由が奪われていく主人公を新人・大西麻恵が熱演。

木藤亜也は中学3年のある日、通学途中に転んで下あごを強打してしまう。不自然な転倒の仕方を気に掛ける医者のお勧めで、母の潮香は設備のある病院で亜也の検査をすることに。その結果、亜也が“脊髄小脳変性症”という次第に全身がマヒしてしまう病気であることが判明する。担当の山本紘子医師によると、それは原因不明の難病で、現代の医療では治療法がない不治の病であり、悪くなっても決して良くはならないという。それでも亜也は、目指していた進学校の県立豊橋東高校にみごと合格、高校生となる。山本医師のお勧めで日記を付け始めた亜也だったが、病状は日に日に進行していた…。

【クレジット】

監督	岡村力	
プロデューサー	江原法聖 後藤嘉之 山本文夫	
原作	木藤亜也	『1 リットルの涙 難病と闘い続ける少女 亜也の日記』（エフエー出版刊）
	木藤潮香	『いのちのハードル』（エフエー出版刊）
脚本	田中貴大 山本文太	
撮影	中村隆信	
音楽	RIKU	
主題歌	加藤郁子	『空へ』
照明	保澤正二	
助監督	山本伊知郎	
出演	大西麻恵 木藤亜也 かとうかずこ 木藤潮香 鳥居かほり 山本紘子 芦川よしみ 寮母のさと	

松金よね子	パン屋のハル	
浜田光夫	木藤瑞生	(特別出演)
森山周一郎	リハビリ室の患者	(特別出演)
速水亮	入院患者	(特別出演)